

2024年3月期(第52期) 通期決算説明会

2024年5月14日

代表取締役社長 弘中 俊行



日本エム・ディ・エム

東京証券取引所 プライム市場
証券コード:7600

-目次-

1 . 2024年3月期 通期業績結果 P. 3

- 連結売上高 P. 4
- 連結損益計算書 P. 5
- 前年営業利益比較分析 P. 6
- 主要品目別連結売上高 P. 7

日本市場 P. 8

- 日本国内売上 P. 9
- 日本国内売上【人工関節】 P.10
- 日本国内売上【骨接合材料】 P.11
- 日本国内売上【脊椎固定器具】 P.12

米国市場 P.13

- 米国売上 P.14
- 米国売上【人工膝関節】 P.15
- 米国売上【人工股関節】 P.16

サステナビリティの取組み(2024年3月期) P.17

2 . 2025年3月期 通期業績予想 P.18

- 前提条件 P.19
- 連結損益計算書 P.20
- 主要品目別連結売上高 P.21
- 2025年3月期(第53期)の主な取組み P.22
- 設備投資等推移 P.23

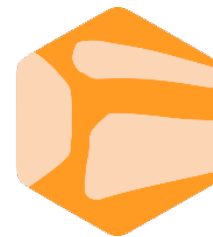
当社の製品セグメント



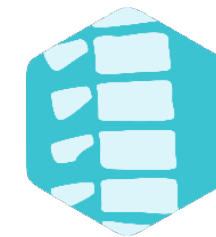
人工股関節



人工膝関節



骨接合材料



脊椎固定器具

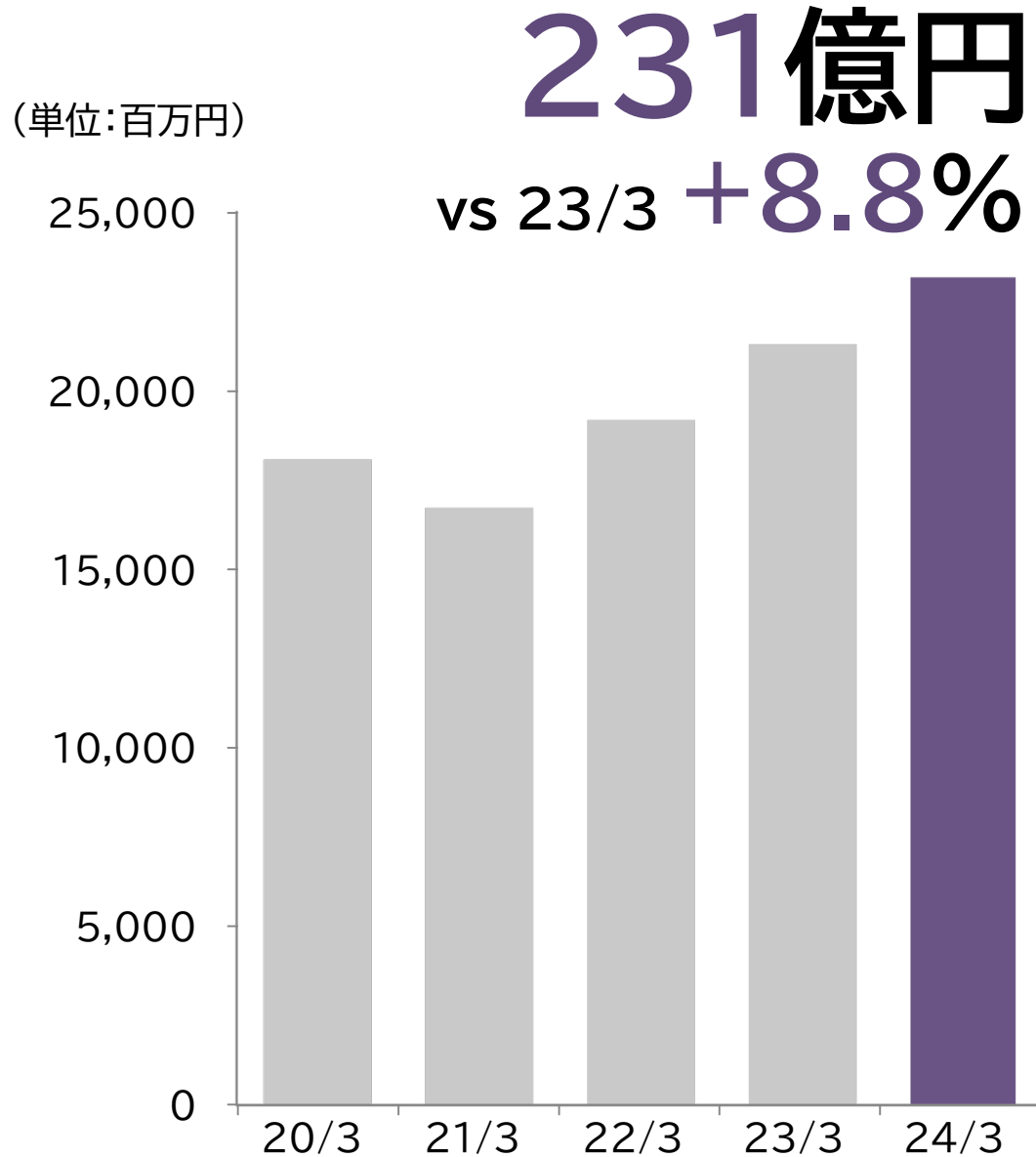
1

2024年3月期 通期業績結果

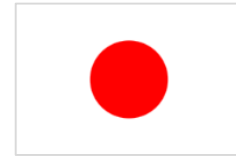


日本エム・ティ・エム

東京証券取引所 プライム市場
証券コード:7600



3期連続 過去最高売上高更新



130億円(+5.2%)



101億円(+13.7%)

期中平均換算レート:144.41円/USドル

(単位:百万円、%)	2024年3月期		前期比増減		2023年3月期	
	実績	売上比	増減額	増減率	実績	売上比
売上高	23,177	100.0	+1,869	+8.8	21,307	100.0
売上原価	8,415	36.3	+1,100	+15.0	7,315	34.3
販管費	13,015	56.2	+1,047	+8.8	11,967	56.2
営業利益	1,746	7.5	▲277	▲13.7	2,024	9.5
経常利益	1,842	8.0	▲200	▲9.8	2,043	9.6
当期純利益※	1,271	5.5	▲152	▲10.7	1,423	6.7

※親会社株主に帰属する当期純利益

前期営業利益比較分析

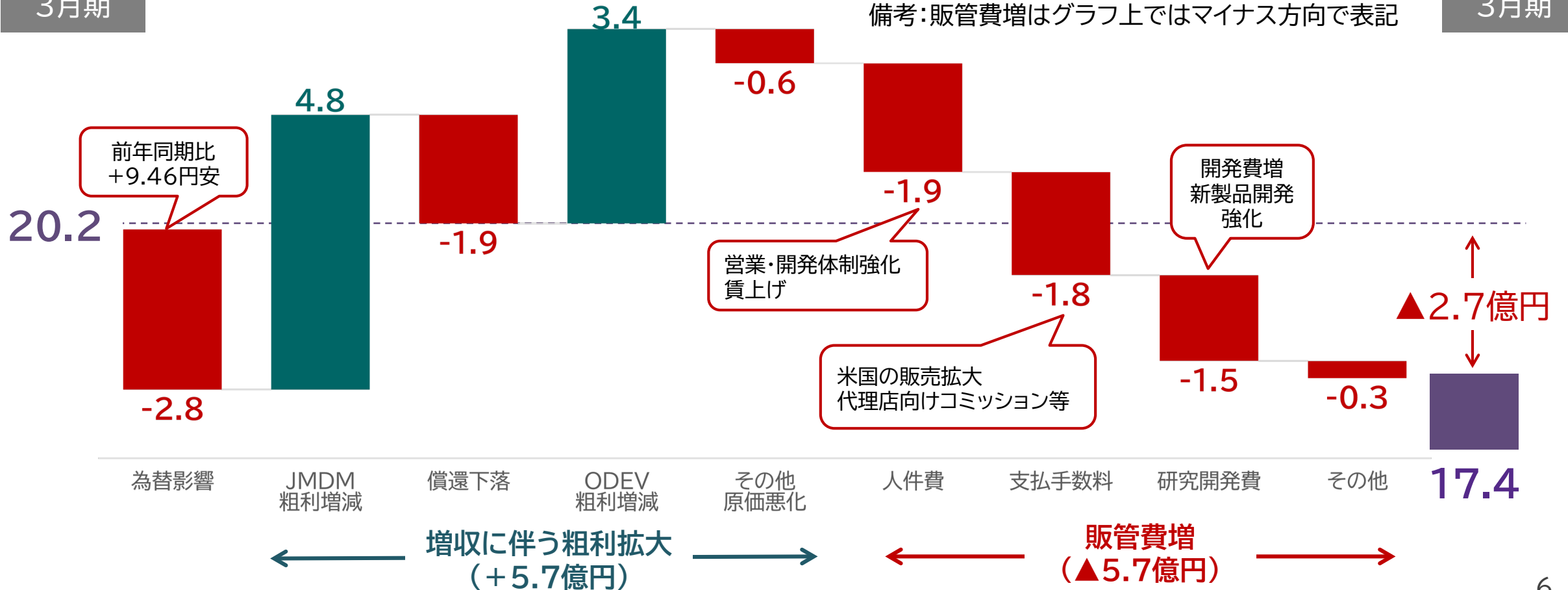
営業利益
▲2.7億円

ODEV製品仕入・ODEV販管費に関する円安の影響(▲2.8億円)及び販管費増(▲5.7億円)を、増収に伴う粗利拡大(+5.7億円)でカバーするに至らなかった

2023年
3月期

2023年3月期～2024年3月期
営業利益:増減分析(単位:億円)
備考:販管費増はグラフ上ではマイナス方向で表記

2024年
3月期



主要品目別連結売上高

(単位:百万円、%)	2024年3月期		前期比増減		2023年3月期	
	実績	構成比	増減額	増減率	実績	構成比
日本国内売上	13,004	56.1	+647	+5.2	12,356	58.0
人工関節	4,932	21.3	+194	+4.1	4,738	22.2
骨接合材料	4,563	19.7	+240	+5.6	4,322	20.3
脊椎固定器具	3,322	14.3	+136	+4.3	3,185	15.0
その他	390	1.7	+35	+10.1	354	1.7
小計	13,208	57.0	+607	+4.8	12,601	59.1
売上控除 *3	▲204	▲0.9	▲40	▲16.5	▲244	▲1.1
米国売上 *1	10,173	43.9	+1,222	+13.7	8,951	42.0
人工関節	10,141	43.8	+1,230	+13.8	8,910	41.8
脊椎固定器具	32	0.1	▲8	▲20.2	40	0.2
合計	23,177	100.0	+1,869	+8.8	21,307	100.0
自社製品売上	18,749	80.2	+1,371	+7.9	17,378	80.6
USドルベース *2	70,448		+4,118	+6.2	66,330	

*1 期中平均換算レート(円/USドル)

144.41

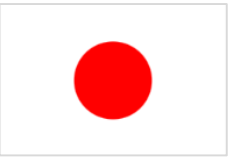
+9.46

134.95

*2 Thousands of dollars *3 売上控除:収益認識基準適用に伴う控除。

日本市場

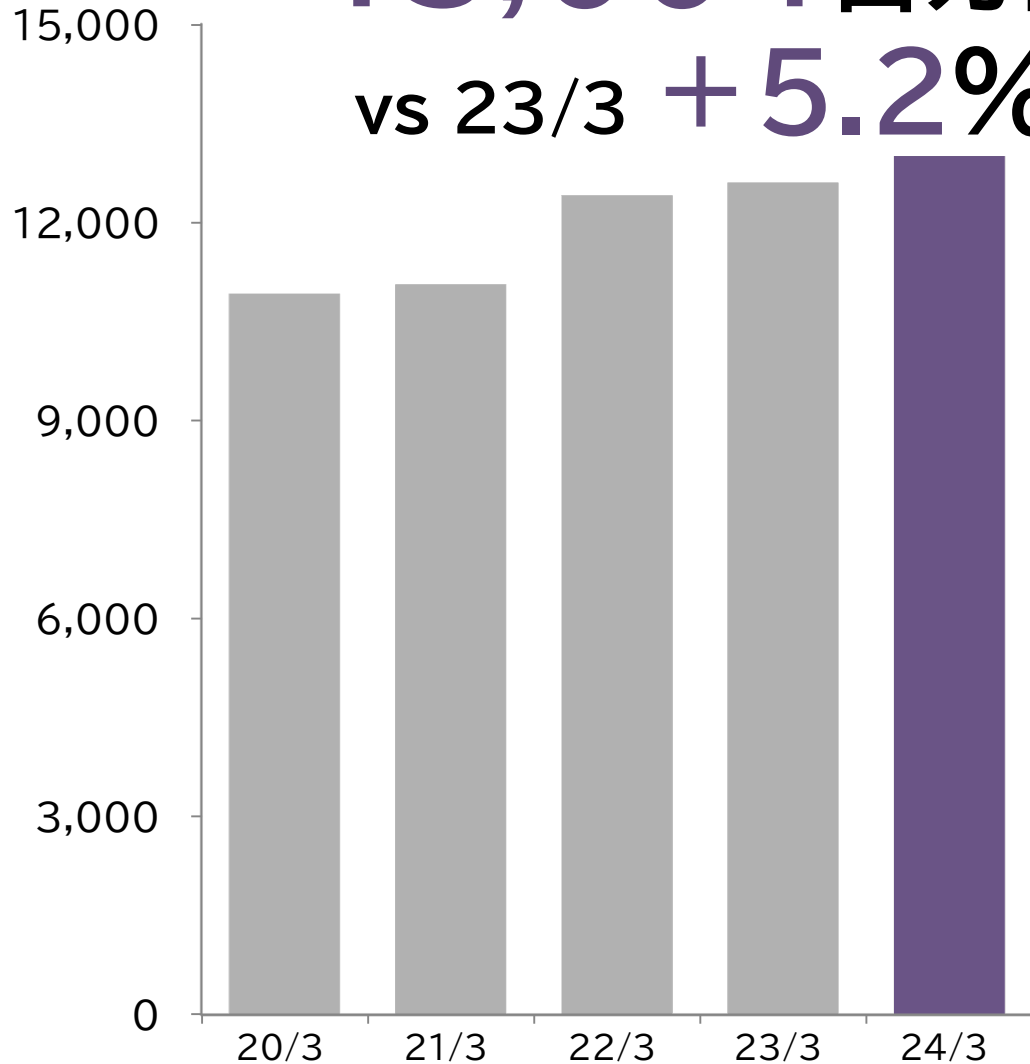




【売上控除後】

(単位:百万円)

13,004百万円
vs 23/3 +5.2%



振り返り

- ✓ 通期売上高は、2023年4月、2024年1月実施の償還価格引下げ等による影響(▲1.4%)あったが、全ての治療材料分野で獲得症例数が増加したことでプラス成長(+5.2%)となった。

【学会出展における当社展示ブース】

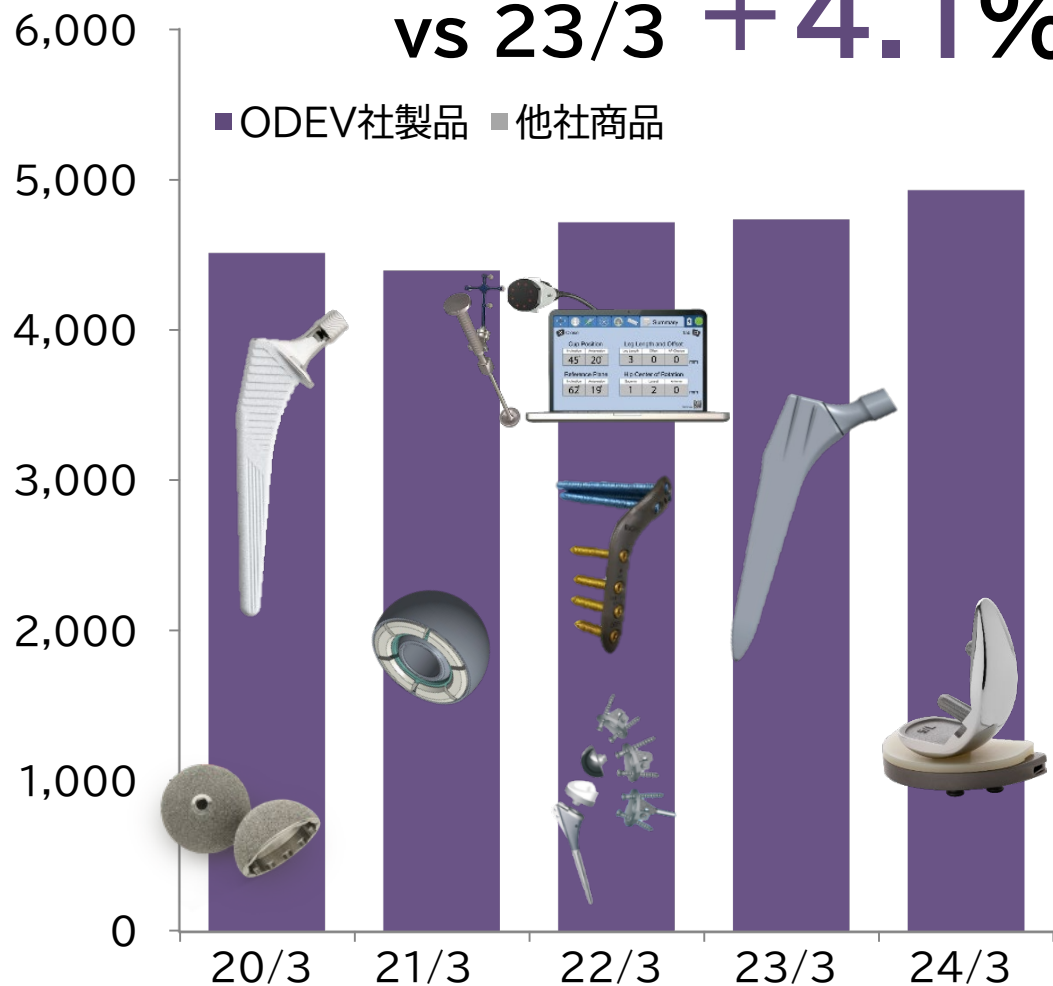




【売上控除前】

4,932百万円
vs 23/3 +4.1%



(単位:百万円)



振り返り

【人工股関節】

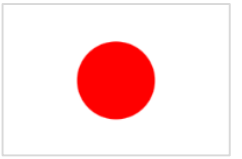
- ✓ THA(人工股関節置換術): **好調**
Entrada Hip Stem、新製品Promontory Hip Stem
→獲得症例数が伸長
- ✓ Intellijoint HIPナビゲーション システム: **シナジー効果**
- ✓ BHA(人工骨頭置換術): **僅かな成長にとどまる**

主力製品	新製品
	
Entrada Hip Stem	Promontory Hip Stem

【人工膝関節】

- ✓ 人工膝関節製品「BKS TriMax」獲得症例数が伸長: **2桁成長**

主力製品	新製品
	
BKS TriMax	Balanced Knee System Uni

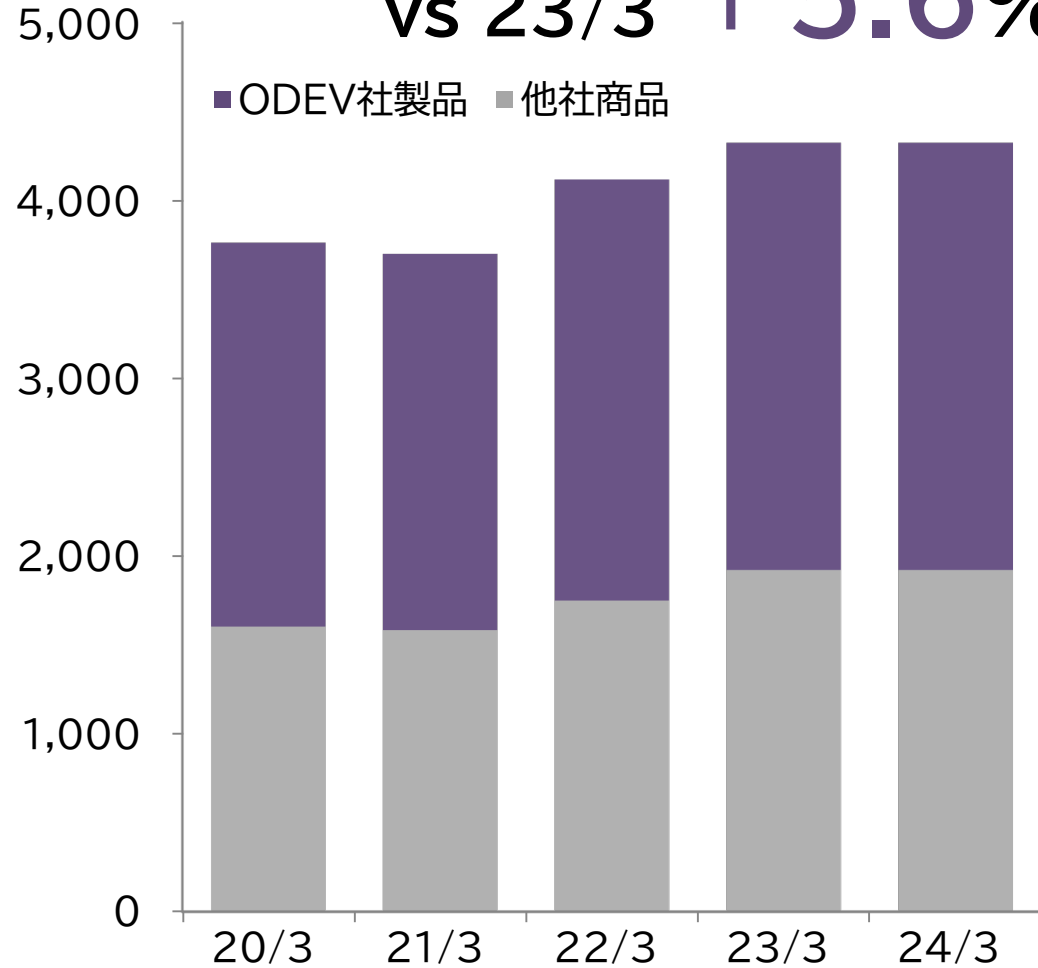


【売上控除前】

4,563百万円

vs 23/3 +5.6%

(単位:百万円)



振り返り

- ✓ 大腿骨頸部転子部骨折治療製品
- PHS(自社製品)
- ASULOCK(他社商品)
- 2桁成長

主力製品・商品



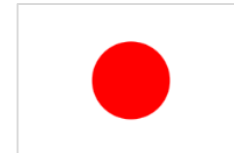
PHS Side Plate



PHS



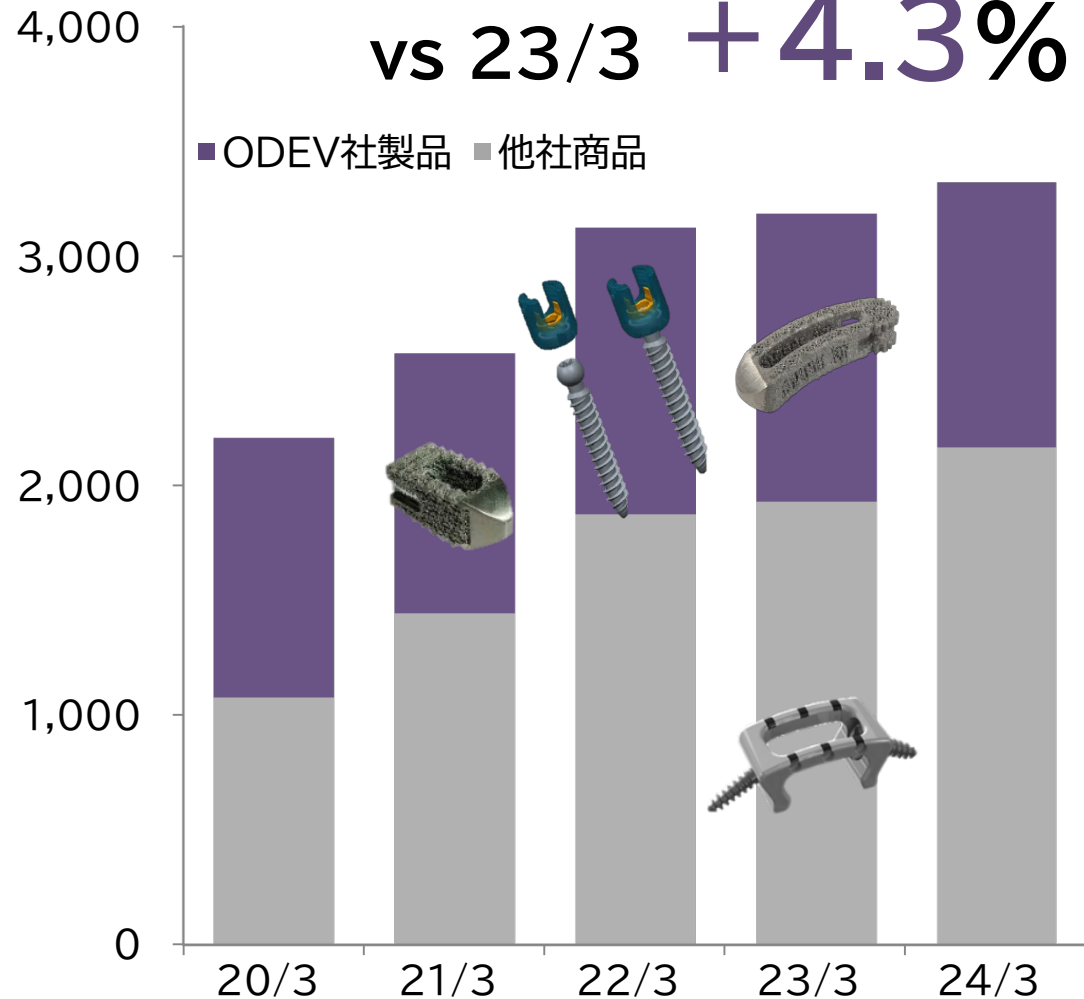
ASULOCK



【売上控除前】

3,322百万円
vs 23/3 +4.3%

(単位:百万円)



振り返り

- ✓ Lince Plate※(他社商品):**好調**
- ✓ 新商品Linceα Plate※(他社商品):**好調**
- ✓ Vusion Ti 3D ケージ、
新製品Vusion ARCケージ:**伸長**
- ✓ KMC Balloon Kyphoplasty (他社商品)
BKP市場(Balloon Kyphoplasty)拡大による成長機会
を捉える施策を実行し、**売上が伸長**

※旧Lynx Plate
※旧Lynxα Plate

主力製品・商品

			
Lince Plate	Linceα Plate	Vusion Ti 3D ケージ	Vusion ARC ケージ
			
KMC Balloon Kyphoplasty			

米国市場

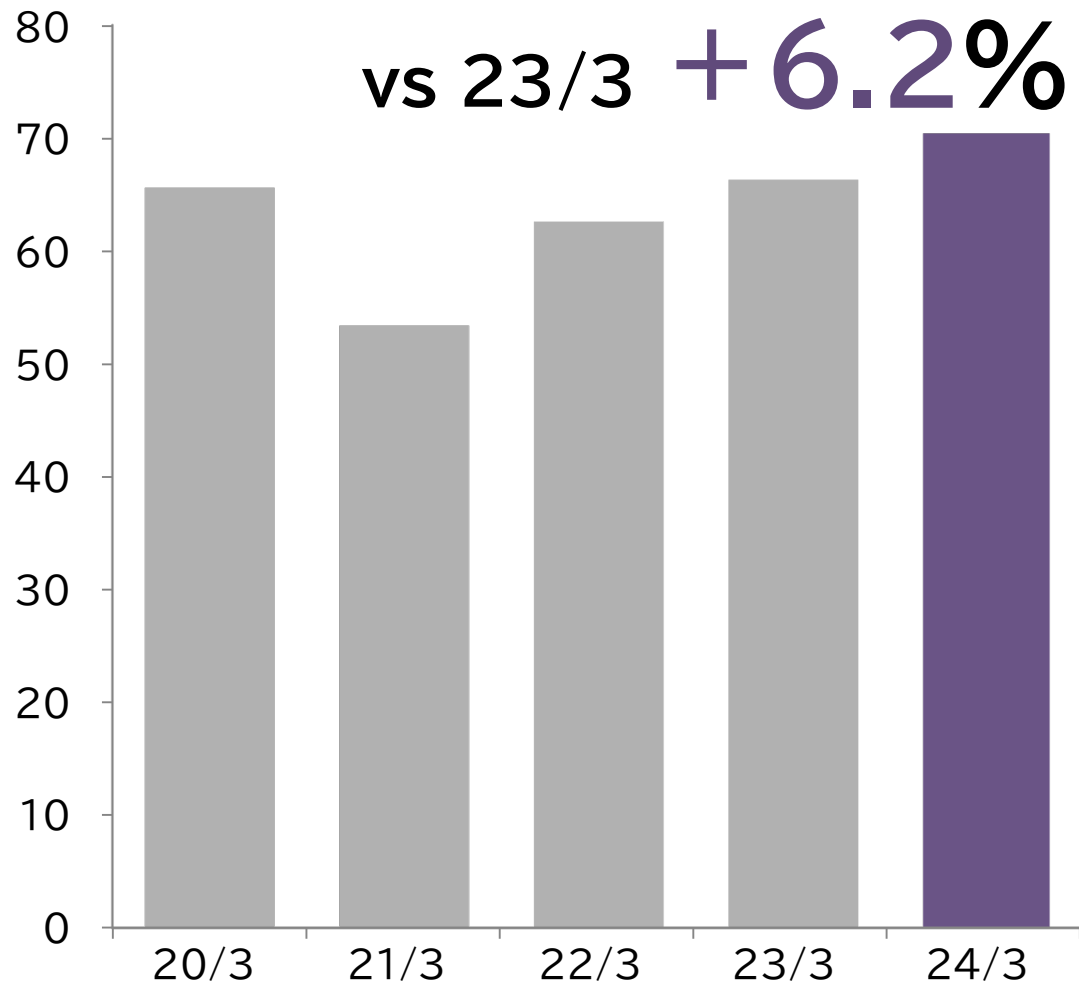




(単位: Million of dollars)

\$70.4M

vs 23/3 +6.2%



振り返り

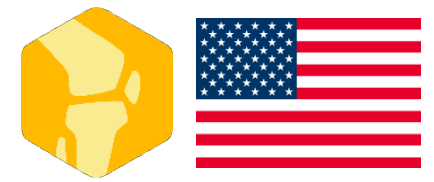
- ✓ 過去最高売上高更新 (US\$ベース)
- ✓ 昨年開拓した顧客基盤が成長に貢献

【AAHKS 2023(米国股関節・膝関節外科学会議)での ODEV社展示ブース(11月開催)】



101億円(+13.7%)

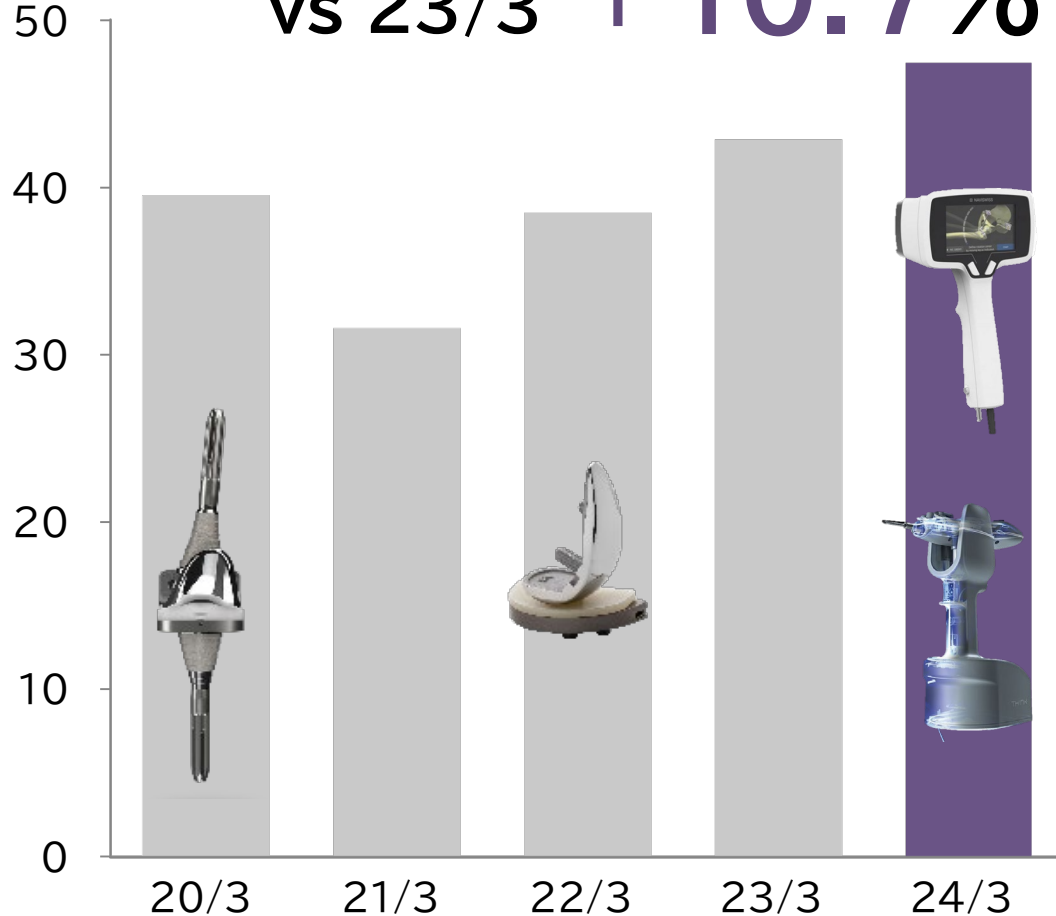
期中平均換算レート:144.41円/USドル



\$47.4M

(単位: Million of dollars)

vs 23/3 +10.7%



振り返り

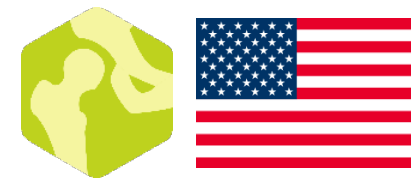
- ✓ BKS TriMax、BKS Revision Knee: 好調維持
- ✓ 手術支援システムの導入

Enabling Technologies導入

	Naviswiss社製ナビゲーションシステム Naviswiss Knee
	THINK Surgical Inc.製 新型手術支援ロボットシステム TMINI Miniature Robotic System



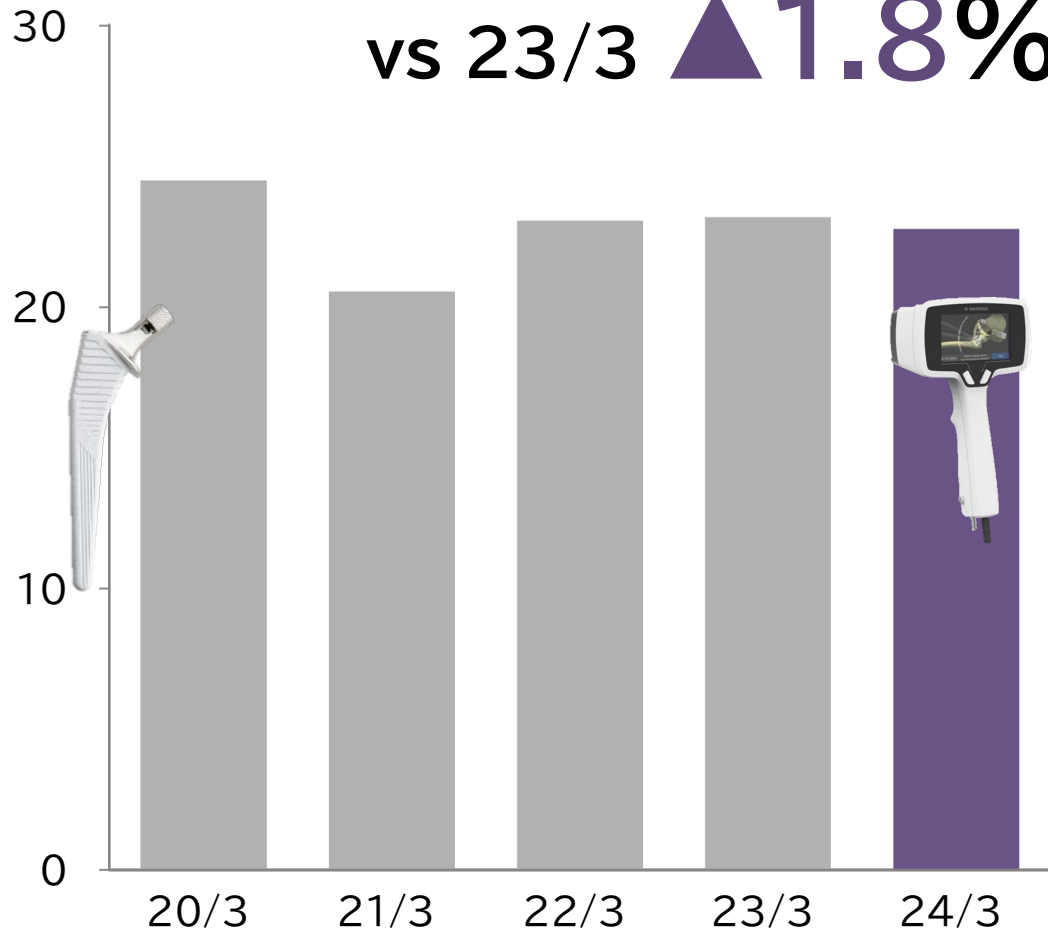
※DePuy Synthes 社向け「KASM」販売等除く



(単位: Million of dollars)

\$22.7M

vs 23/3 ▲1.8%



振り返り

- ✓ Entrada Hip Stem、Alpine Hip Stem: **2桁成長**
- ✓ Ovation Tribute Stem: **症例数減少**
 当社のTaper Wedgeタイプの既存ユーザーが Triple Taperタイプの他社Stemに移行

Enabling Technologies導入



Naviswiss社製ナビゲーションシステム
Naviswiss Hip

人工股関節新製品 Trivicta Hip Stem



- FDA薬事承認取得(2024年3月)
- 2025年3月期Q1販売開始
- Triple TaperタイプのStem導入により、売上拡大に期待

Trivicta Hip Stem 米国販売開始準備中

財務的価値を向上させるとともに、ESG活動を通して非財務的価値を向上します

患者QOLの向上



人工関節分野2件

環境負荷の低減



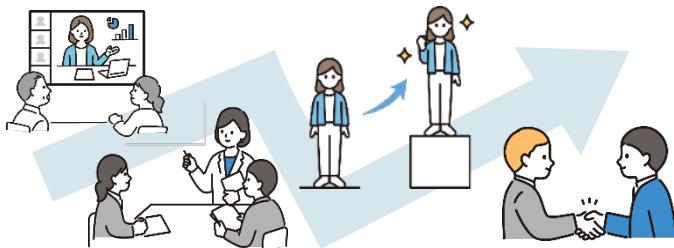
GHG排出量削減(Scope1+Scope2)
・前年比18.3%削減
・基準年2020年3月期比11.5%削減

人権尊重の取組み



- ・ 人権方針策定
- ・ 人権デューデリジェンス・プロセス構築

多様な人材の活躍推進



人的資本委員会を設置し、エンゲージメントの向上、後継者育成、健康経営の取り組み

医療ニーズへの高品質対応



ISO13485維持審査マイナー事項3件
BCP対策:物流拠点大阪サテライト新設
西日本地域向け物流遅延リスク軽減

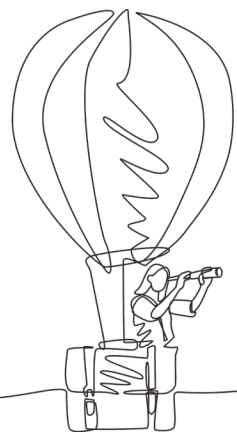
コーポレート・ガバナンスの推進



- ・ コーポレート・ガバナンス・コード対応
- ・ リスクマネジメント、コンプライアンス経営の推進

2

2025年3月期 通期業績予想

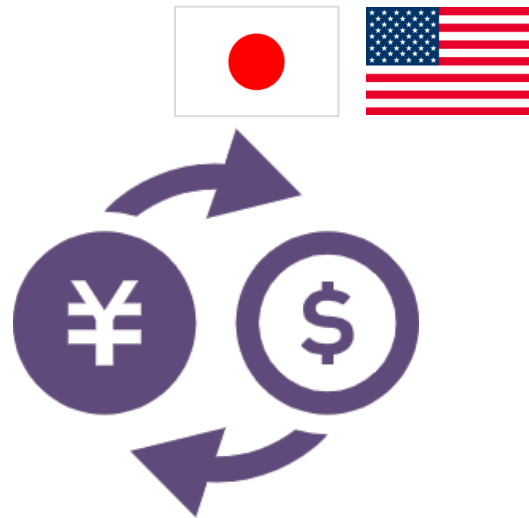


日本エム・ティ・エム

東京証券取引所 プライム市場
証券コード:7600

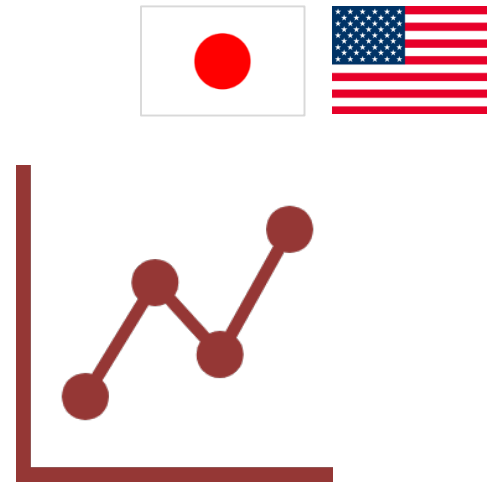
2025年3月期 通期業績予想における前提条件

為替レート(USDドル)



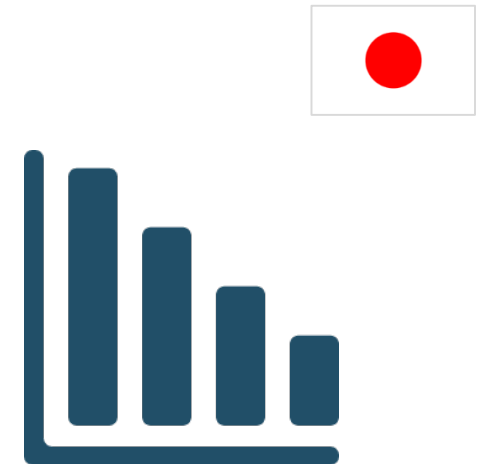
想定為替レート
150.00円(円/USDドル)

為替感応度



営業利益
1円あたり約20百万円

償還価格引下げ



償還価格引下げ約0.3%
影響額は年間約50百万円

(単位:百万円、%)	2025年3月期 予想		前期比増減		2024年3月期 実績	
	売上高	売上比	増減額	増減率	売上高	売上比
売上高	25,200	100.0	+2,022	+8.7	23,177	100.0
売上原価	9,150	36.3	+734	+8.7	8,415	36.3
販管費	14,200	56.3	+1,184	+9.1	13,015	56.2
営業利益	1,850	7.3	+103	+5.9	1,746	7.5
経常利益	1,850	7.3	+7	+0.4	1,842	8.0
当期純利益※	1,300	5.2	+28	+2.2	1,271	5.5

※親会社株主に帰属する当期純利益

主要品目別連結売上高

(単位:百万円、%)	2025年3月期 予想		前期比増減		2024年3月期	
	構成比	増減額	増減率	実績	構成比	
日本国内売上	13,500	53.6	+495	+3.8	13,004	56.1
人工関節	5,060	20.1	+127	+2.6	4,932	21.3
骨接合材料	4,670	18.5	+106	+2.3	4,563	19.7
脊椎固定器具	3,540	14.0	+217	+6.6	3,322	14.3
その他	440	1.7	+49	+12.7	390	1.7
小計	13,710	54.4	+501	+3.8	13,208	57.0
売上控除 *3	▲210	▲0.8	▲5	+2.7	▲204	▲0.9
米国売上 *1	11,700	46.4	+1,526	+15.0	10,173	43.9
人工関節	11,700	46.4	+1,558	+15.4	10,141	43.8
脊椎固定器具	0	0.0	▲32	▲100.0	32	0.1
合計	25,200	100.0	+2,022	+8.7	23,177	100.0
自社製品売上	20,190	79.5	+1,441	+7.7	18,749	80.2
USドルベース *2	78,000		+7,552	+10.7	70,448	

*1 期中平均換算レート(円/USドル)

150.00

+5.59

144.41

*2 Thousands of dollars *3 売上控除:収益認識基準適用に伴う控除。

	地域	取組み内容
開発		● 製品ポートフォリオ見直し
		● 製品ラインアップ拡充のために新製品開発を加速
製造		● 自社製造能力強化による製造原価低減 ● 調達力強化によるコスト削減・リスク低減
		● 中国製人工膝関節の製造開始及び拡大
販売		● 注力製品、新製品による売上拡大 ● 営業体制の強化(人員増員)
		● 新製品を梃子に新規顧客獲得 ● 販売ネットワーク強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存Distributorとの連携強化 ・ 販売拡大・新規Distributor開拓
		● 中国製人工膝関節の販売拡大



設備投資等推移

(単位:百万円、%)	20/3 実績	21/3 実績	22/3 実績	23/3 実績	24/3 実績	25/3 予想
設備投資	1,812	1,586	1,665	1,317	1,916	2,030
減価償却費※	1,385	1,386	1,420	1,549	1,595	1,670
研究開発費	470	459	485	662	874	1,060

※製造原価算入の減価償却費を含むため、損益計算書上の「減価償却費」とは一致しておりません。

最先端の優れた医療機器の開発と販売を通じて、医療に貢献する

お問い合わせ先

株式会社日本エム・ディ・エム IR室

E-MAIL

ir@jmdm.co.jp

IRサイト

<https://www.jmdm.co.jp/ir/>



日本エム・ディ・エム

将来の見通しに関する記述について

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。